

逆流性腎症

現在、逆流性腎症とは**膀胱尿管逆流**に伴って認められる腎臓の障害のことを示します。具体的には、**尿路感染症**が繰り返されることによって、腎臓に瘢痕ができたり、小さくなってしまうこと。また、膀胱尿管逆流に合併する先天性の**腎低形成**も含まれます。

自覚症状は乏しく、健診で**尿蛋白**や**高血圧**を指摘されて発見される場合や、更に進行して慢性**腎不全**の状態で見られる例もあり注意が必要です。

検査には、一般の尿検査、血液検査などの他に **DMSA 腎シンチグラム**が行われます。DMSA 腎シンチグラムによって、逆流性腎症の程度や左右差などが評価できます。

残念ながら現在のところ、進行してしまった逆流性腎症を治す治療はありません。早期に発見して、進行を予防していくことが大切になります。

そこで重要となってくるのが、尿路感染症を繰り返さないことです。**尿路感染症**の項目にもありますが、小さなお子さんの場合は、発熱以外の症状を認めないこともあります。熱が出たからと安易に抗菌薬を使用してしまうと、原因がわからず、知らない間に尿路感染症を繰り返す可能性があります。

是非、お家の近くに「かかりつけ医」の先生をもって診てもらうようにしましょう。